

1 テキストファイルの取得

テキストファイルの読み込みや書き込みをするには「**TextStreamオブジェクト**」を使います。TextStreamオブジェクトは、FSOオブジェクトの「**OpenTextFileメソッド**」を使って取得します。

TextStreamオブジェクトは、開いたテキストファイルを表すオブジェクトで、TextStream型で宣言したオブジェクト変数に代入できます。

■ OpenTextFile メソッド

引数FileNameに指定したテキストファイルをTextStreamオブジェクトとして開きます。

構文 FSOオブジェクト.OpenTextFile(FileName,IOMode,Create)

●入力モードに指定できる主な定数

引数	内容	省略
FileName	パスを含めたテキストファイル名を指定	省略できない
IOMode	テキストファイルを開くときの入出力モードを指定	省略できる
Create	テキストファイルが存在しない場合の動作を指定	省略できる

●引数IOModeに指定できる定数

定数	内容
ForReading	読み込みモードでテキストファイルを開く 開いたテキストファイルに文字列を書き込むことはできない
ForWriting	書き込み（上書き）モードでテキストファイルを開く テキストファイルのもとの内容はすべて破棄され、文字列を新規に書き込む
ForAppending	書き込み（追記）モードでテキストファイルを開く テキストファイルの末尾から文字列を追記

※省略するとForReadingが指定されます。

●引数Createに指定できる設定値

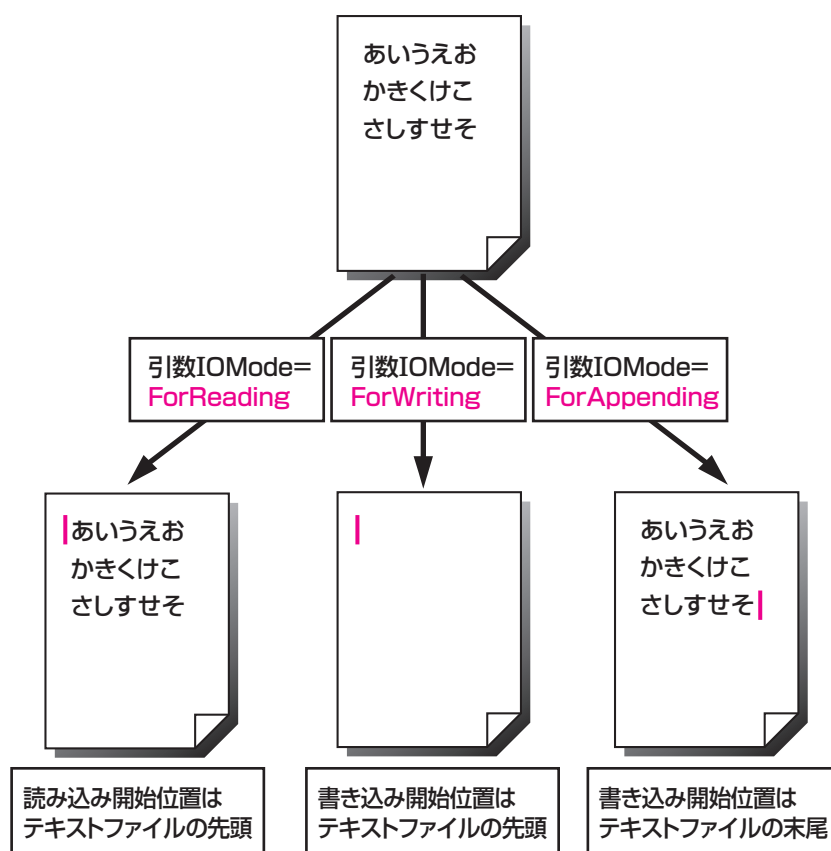
設定値	内容
True	テキストファイルが存在しない場合はテキストファイルを新たに作成
False	テキストファイルが存在しない場合はエラーが発生

※省略するとFalseが指定されます。

例:Cドライブにあるテキストファイル「商品一覧.txt」をTextStreamオブジェクトとして開き、TextStream型のオブジェクト変数MyTXTに代入する

```
Dim MyFSO As New FileSystemObject
Dim MyTXT As TextStream
Set MyTXT = MyFSO.OpenTextFile("C:\商品一覧.txt")
```

OpenTextFileメソッドでテキストファイルを開いた場合、引数IOModeに指定した入出力モードによって「読み込み位置」や「書き込み位置」が異なります。読み込み位置、書き込み位置とは、読み込みや書き込みを開始する位置を表すカーソルのようなものです。



●TextStreamオブジェクトの主なプロパティ

プロパティ	内容	使用できるモード
AtEndOfLine	読み込み位置が行の末尾かどうかを調べる	読み込みモード
AtEndOfStream	読み込み位置がテキストファイルの末尾かどうかを調べる	読み込みモード
Column	読み込み位置・書き込み位置が何文字目にあるかを返す	すべてのモード
Line	読み込み位置・書き込み位置が何行目にあるかを返す	すべてのモード

●TextStreamオブジェクトの主なメソッド

メソッド	内容	使用できるモード
Close	開いたテキストファイルを閉じる	すべてのモード
ReadAll	テキストファイル全体を読み込む	読み込みモード
ReadLine	行全体を読み込む	読み込みモード
SkipLine	行をスキップ	読み込みモード
Write	文字列を書き込む	書き込みモード
WriteLine	文字列と改行を書き込む	書き込みモード
WriteBlankLines	改行を書き込む	書き込みモード

1

2

3

4

5

6

7

8

総合問題

解答

索引

2 テキストファイルの読み込み・書き込み

TextStreamオブジェクトのメソッドを使うと、テキストファイルに対する読み込みや書き込みを実行できます。

1 テキストファイルの読み込み

テキストファイル内のすべての文字列を読み込むには「ReadAllメソッド」を、1行ずつ読み込むには「ReadLineメソッド」を使います。

■ ReadAll メソッド

読み込み位置からテキストファイルの末尾までの文字列を読み込み、その文字列を返します。

構文 TextStreamオブジェクト.ReadAll

■ ReadLine メソッド

読み込み位置のある行の文字列を読み込み、その文字列を返します。

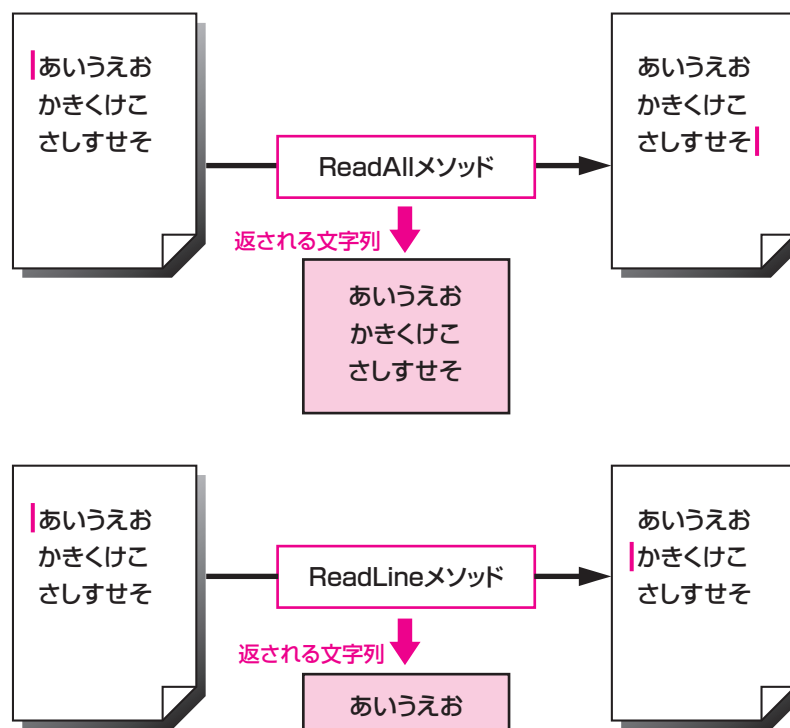
構文 TextStreamオブジェクト.ReadLine

※読み込み位置がテキストファイルの末尾にあるときにReadAllメソッドやReadLineメソッドを実行するとエラーが発生します。



読み込み後の読み込み位置

ReadAllメソッドを使うと読み込み位置はテキストファイルの末尾に移動し、ReadLineメソッドを使うと読み込み位置は次の行の先頭に移動します。



テキストファイル「フルーツ.txt」の文字列をすべて読み込んで、読み込んだ文字列をセル【C7】に入力するプロシーヂャを作成して、動作を確認しましょう。

※テキストファイル「フルーツ.txt」は、現在のブックが保存されているフォルダー内にあります。

※VBEに切り替えておきましょう。

■「テキスト読込」プロシーヂャ

1. Sub テキスト読込 ()
2. Dim MyFSO As New FileSystemObject
3. Dim MyTXT As TextStream
4. Dim Filename As String
5. Filename = ThisWorkbook.Path & "¥フルーツ.txt"
6. Set MyTXT = MyFSO.OpenTextFile (Filename, ForReading)
7. Range ("C7").Value = MyTXT.ReadAll
8. MyTXT.Close
9. Set MyFSO = Nothing
10. Set MyTXT = Nothing
11. End Sub

■プロシーヂャの意味

1. 「テキスト読込」プロシーヂャ開始
2. FileSystemObject型のオブジェクト変数MyFSOを使用することを宣言してインスタンスを生成
3. TextStream型の変数MyTXTを使用することを宣言
4. 文字列型の変数Filenameを使用することを宣言
5. 変数Filenameに実行中のプロシーヂャが記述されているブックが保存されているフォルダーの絶対パスと「¥フルーツ.txt」を連結して代入
6. 変数Filenameのテキストファイルを読み込みモードで開いてオブジェクト変数MyTXTに代入
7. テキストファイルのすべての文字列を読み込み、セル【C7】に入力
8. テキストファイルを閉じる
9. オブジェクト変数MyFSOの初期化
10. オブジェクト変数MyTXTの初期化
11. プロシーヂャ終了

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2		実習	テキストファイルの読み込み				
3			テキストファイル「フルーツ.txt」の内容をセル【C7】に読み込みましょう。				
4		テキスト読込					
5							
6			テキストの内容				
7			りんご みかん なし くり ぶどう				
8							
9		実習	テキストファイルの書き込み				
10			テキストファイル「フルーツ.txt」にセル【C14】の値を追記しましょう。				
11		テキスト追記					
12							
13			追記する内容				
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							

①新しい標準モジュール「Module2」を作成します。

②「テキスト読込」プロシーヂャを入力します。

※コンパイルし、上書き保存しておきましょう。
プロシーヂャの動作を確認します。

③Excelに切り替えます。

④シート「テキストファイル」を選択します。

⑤「テキスト読込」ボタンをクリックします。

※作成したプロシーヂャを実行するように、あらかじめ登録されています。

「フルーツ.txt」に入力されている文字列がセル【C7】に入力されます。

1

2

3

4

5

6

7

8

総合問題

解答

索引